

パブリックコメント

「智頭町立智頭図書館整備基本構想(案)」についての提出意見と回答

＜パブリックコメントの実施概要＞

募集期間：平成29年10月3日(火)から10月31日(火)まで

意見提出方法：郵送、直接持参、ファクシミリ、電子メール

＜提出意見＞ 合計141件

1 智頭図書館の現状と課題について（基本構想案P2～5）：6件

2 新図書館の目指す姿について（基本構想案P6～7）：57件

3 新図書館の施設整備に関する基本的な考え方について（基本構想案P8～9）：18件

4 新図書館の建設スケジュールについて（基本構想案P10）：3件

※ 該当箇所の記載がない意見：57件

＜提出者＞ 合計63人

10代…38人

20代… 3人

30代… 3人

40代… 3人

50代… 6人

60代… 8人

70代… 1人

80代… 1人

「智頭町立智頭図書館整備基本構想(案)」についての意見

- 1 智頭図書館の現状と課題について 計6件 (1)智頭図書館の現状 : 3件
(2)智頭図書館の課題 : 3件

	該当箇所	意見	回答
1	P2 (1)智頭図書館の現状 ・開館時間	・開館時間を延ばして、夜まででも勉強できるようにしてほしい。	平成28年度から、平日(火～金曜日)の開館時間を18時までに30分延長し、利用状況を調査しています。今後、利用が多い状況があれば、更なる開館時間の延長を検討します。
2		・学校帰りやバス、汽車の待ち時間に立ち寄れるように、開館時間を延ばしてほしい。	
3	P3 (1)智頭図書館の現状 ・利用状況	・「人口1人あたりの個人貸出冊数の推移」のグラフについて、県内平均と智頭の2つだけでなく、P4の状況のように八頭町、若桜町、三朝町の比較があったら良いと思う。	このグラフについては、智頭町の利用状況を見ていただくことを目的にしており、県内平均との比較が分かりやすいものと考えております。
4	P5 (2)智頭図書館の課題	・バリアフリー、閲覧スペース、駐車場などの設備面では図書館として求められる要素が現状、決定的に欠けている。そのため、新図書館に求められるのは、それまでのマイナスイメージを払しょくするだけの設備面の充実だと思う。	ご指摘を踏まえ、新図書館は、だれもが利用しやすい施設として整備していきたいと考えております。
5		・バリアフリーで1階であるべき。できれば地下室がほしい。	
6		・課題にあるが、「勉強の場所」について、友達と集まって話ができたり、勉強ができたりする場所がほしい。	新図書館では、基本構想案P6図書館の役割「住民の生涯にわたる学びを支援する」、またP7智頭図書館のありたい姿「世代を超えた住民の居場所を確保する」を目指す姿として掲げ、ご意見にある勉強の場所を整備したいと考えております。

2 新図書館の目指す姿について 計57件 (1)基本コンセプト : 2件
(2)図書館の役割 : 9件

	該当箇所	意見	回答
1	P6 (1)基本コンセプト	・～なごみ、つながり、まなびあう～のなごみという言葉が初めにくるのに違和感を覚える。P6、P7を読むと「出会い」の方がストンと入るようになる。	ご意見を踏まえ検討した結果、～であい、つながり、まなびあう～に変更します。「出会い」は子どもたちにもわかりやすいように、「であい」と表現します。
2		・「多くの人たちがつながり、学びあう」ためには、座席数だけでなく、対面式の机や少人数から十数名程度収容の個室も備え、周囲に気兼ねせず済むスペースを備えることが必要だと考える。	今後、第2回住民ワークショップで新図書館について具体的な協議をし、図書館整備基本計画策定を予定しています。提出いただいたご意見を活かしていきたいと考えております。
3	P6 (2)図書館の役割	・「図書館の自由に関する宣言」を体現した図書館になること。	ご意見を踏まえ、今後、図書館づくりを進めていきたいと考えております。
4		・地域資料収集の充実は、公共図書館の大きな使命であり、後世に残す財産である。ぜひ、力を入れ多くの人にわかりやすい郷土史のアプローチを願う。	ご意見のとおり、特に博物館がない智頭町にとって、地域資料の収集は図書館の重要な役割だと考えております。その役割を果たす図書館を目指していきます。
5		・智頭の人には、みんなが優しく、楽しい町だと思うので、「子どもから大人まですべての住民が和み、憩い、楽しむ、交流の場となる」が大切だと思う。	新図書館が、第7次智頭町総合計画にある、豊かで幸せなちづ暮らしの一翼を担い、住民の交流の場となるのが大切だと考えております。
6		・「子どもから大人まですべての住民が和み、憩い、楽しむ、交流の場となる」が大切だと思う。この図書館が100年以上愛されるようになってほしい。	
7		・今後、少子高齢化、過疎化が現実化している智頭町内で運営される図書館の最大の役割は「子どもから大人まで、すべての住民の交流の場」となる施設内容であることと考える。	今後、第2回住民ワークショップで新図書館について具体的な協議をし、図書館整備基本計画策定を予定しています。提出いただいた意見を活かしていきたいと考えております。
8		・「子どもから大人まですべての住民が和み、憩い、楽しむ、交流の場となる」ためにはバリアフリーが必要となる。	
9		・「交流の場」という役割を担いたいのであれば、飲み物が飲めるスペースも用意し、憩いの要素を満たしたスペースも備えているべきではないかと思う。	
10		・「子どもから大人まですべての住民が和み、憩い、楽しむ、交流の場となる」ために、図書館でイベントを増やしたほうがいい。	
11		・大人が行こうと思えるような、疲れが取れる、リフレッシュできるようなものを置いたら、大人も図書館に行ってみたいと思うかもしれません。	

(3)智頭図書館のありたい姿：43件

	該当箇所	意見	回答
12	P7 (3)智頭図書館の ありたい姿	・(3)智頭図書館のありたい姿は、「ありたい姿」より「望む姿」の方がいいように感じる。	ご意見を検討しましたが、この項目は、新図書館の姿を、「望む」より強い気持ちの「ありたい」で表したいと思っており、基本構想案のとおり「智頭図書館のありたい姿」とします。
13		・「誰もが知識・情報にふれることが出来る」利用しやすい図書館にするため、バリアフリーと智頭の中心部(駅周辺)に作る必要があると思う。	現在の智頭図書館の課題であるバリアフリーについては、新図書館建設事業において重要なことであり、「誰もが知識・情報にふれることが出来る」ために、更なる利用をサポートするサービスやシステムを考えていきたいと思います。
14		・「誰もが知識・情報にふれることが出来る」について、バリアフリーを一番大事にする。	
15		・「誰もが知識・情報にふれることが出来る」について、バリアフリーにしてほしい。	
16		・ぼくは、過ごしやすい図書館がいいと思う。P11の資料から今まであまり使っていない年代の方も、「そうだ図書館に行こう」と思える図書館をつくってほしい。若い方には、昔のこと、年をとっておられる方には、今起こっていることを知ってほしい。	
17		・利用者カードを配る、本の紹介、宅配など町民に広く親しまれる館のあり方を準備してほしい。	今後、第2回住民ワークショップで新図書館について具体的な協議をし、求める役割、機能を図書館整備基本計画として策定を予定しています。住民ワークショップでの協議を踏まえ、提出いただいたご意見を参考にさせていただきます。
18		・「誰もが知識・情報にふれることが出来る」について、小さな部屋でPCで検索ができる図書館。	
19		・電話で本が借りられるようになれば。地区公民館への配達をしてほしい。	
20		・セミナールーム、会議室、文化教室などの文化の発信基地として総合センターと異なる役割を求める。	
21		・「町づくりの拠点として、住民の多様な活動ができる場」として、月1回ぐらいのペースで特設コーナーを設置したらどうか。	
22		・「子どもの未来を創造する」という所について、勉強する所を広くしてほしい。そして、調べるために詳しい本や、Wi-Fiとかも置いてほしい。	

	該当箇所	意見	回答	
23	P7 (3)智頭図書館の ありたい姿	・「子どもの未来を創造する」ということが大切だと思う。中学生の私から見て、図書館は本がたくさんあるので、勉強したいと思うけど、席がうまっていることが多く、勉強しようと思ってもできない。スペースをたくさんとってほしい。	今後、第2回住民ワークショップで新図書館について具体的な協議をし、求める役割、機能を図書館整備基本計画として策定を予定しています。住民ワークショップでの協議を踏まえ、提出いただいたご意見を活かしていきたいと考えております。	
24		・「子どもの未来を創造する」という所をしてほしい。勉強ができるようなところ、高校生とかがたくさん来て、快適に過ごすことができる図書館にしてほしい。		
25		・「子どもの未来を創造する」で今だと少ししか勉強や読書ができないと思うから、子どもから大人までがゆっくりとできるスペースをつくってほしい。勉強で疲れたときに自動販売機があると良いと思う。		
26		・「子どもの未来を創造する」で、フリーWi-Fiがあれば、子どももたくさん来る。		
27		・以前の智頭図書館では、十分な教育環境が整っていないと思うので、保育園児などを対象に頭を使うおもちゃなどをキッズコーナーに置くといいと思う。		
28		・小中高どの学年でも勉強がゆっくりできる環境がほしい。そのために、調べ物をする時に必要な本や資料、Wi-Fiがあればいいと思う。		
29		・子どもの未来のために職業、学校説明本、資格の本インターネットができる環境(無料Wi-Fi)がほしい。		
30		・幼児コーナーを大人と別室にし、未来を託す子どもたちに読書に親しんでもらう。大事な読み聞かせも充実させる。		
31		・生徒、児童たちの夢が形になる図書館、図書館づくりになること。		ご意見を踏まえ、今後、図書館づくりを進めていきたいと考えております。
32		・現在、智頭町内では一部の人が図書館の建設に反対をしているが、智頭町の子どもたちと智頭町内の学力をあげるためにも図書館建設は必要。		
33	・「地元の暮らしを支える」というところで、誰でも気軽に使える図書館になればいい。			
34	・木の本をこだわって集めてほしい。木に関する専門家のような司書が常駐していると人が集まると思う。			
35	・「世代を超えた住民の居場所を確保する」ということが大切だと思う。友達と待ち合わせをしたり、勉強したり憩いの場となる。また、地域の人に出会い、知り合うことで地域の輪も強くなると思う。			

	該当箇所	意見	回答	
36	P7 (3)智頭図書館の ありたい姿	・「世代を超えた住民の居場所を確保する」について、 森林が見えて、誰でも行きやすい空間があるとい い。	今後、第2回住民ワークショップ で新図書館について具体的な協 議をし、求める役割、機能を図書 館整備基本計画として策定を予 定しています。住民ワークショップ での協議を踏まえ、提出いただ いたご意見を活かしていきたいと考 えております。	
37		・「世代を超えた住民の居場所を確保する」について、 リラックスして本が読めるソファや椅子がほしい。		
38		・「世代を超えた住民の居場所を確保する」について、 小さい子どものためのものを考える。		
39		・ソファや個室があるとくつろげていいと思う。		
40		・「緑豊かな智頭町になじんだ」のところがいいと思う。 周りになじんだ造りがいいと思うが、内装は便利なよ うにしてあるといいと思う。		
41		・緑豊かな智頭町で、ゆっくりと過ごせることが大事。		
42		・智頭らしさがほしいので、グリーンや木をたくさん用い て、ほっとできる空間にしてほしい。		
43		・今は智頭でゆっくりできる場所がないので、多くの 人が図書館に行ってゆっくりできる図書館にしてほ しい。		ご意見を踏まえ、今後、図書館づ くりを進めていきたいと考えており ます。
44		・智頭には長時間過ごせる場所がないことから、コミ ュニティスペースとしての重要な役割を求める。 そのため、駐車場、勉強席の確保、高齢者、障がい のある方への配慮が必要である。		
45		・ハードルが低く、道行く人が気軽に寄れるスペース。 新聞や雑誌があり、リラックスしてお茶をしながら過 ごせる場所を。		今後、第2回住民ワークショップ で新図書館について具体的な協 議をし、求める役割、機能を図書 館整備基本計画として策定を予 定しています。住民ワークショップ での協議を踏まえ、提出いただ いたご意見を活かしていきたいと考 えております。
46		・落ち着いた勉強ができる場所や小さな子からお年 寄りの方までがゆっくりできる場所がほしい。		
47		・図書館を1階にすれば、ゆったりできて、また来よう と思う。		
48		・ホールがあったり、自動販売機、売店、公衆電話が あると人と話したり、集まったりすると思う。		今後、第2回住民ワークショップ で新図書館について具体的な協 議をし、求める役割、機能を図書 館整備基本計画として策定を予 定しています。住民ワークショップ での協議を踏まえ、提出いただ いたご意見を参考にさせていただきます。
49		・ちょっとした売店があれば、ゆったりできる。		

(2)図書館の役割 (3)智頭図書館のありたい姿 : 3件

	該当箇所	意見	回答
50	P7 (3)智頭図書館の ありたい姿	・子どもから大人まで楽しめるように、本の種類を増やしたり、キッズコーナーを作ったりしたらいいと思う。	今後、第2回住民ワークショップで新図書館について具体的な協議をし、求める役割、機能を図書館整備基本計画として策定を予定しています。住民ワークショップでの協議を踏まえ、提出いただいたご意見を活かしていきたいと考えております。
51		・小さな子どもがいるので、キッズスペースをつけた方がいいと思う。たくさんの方が来ると思うので、まわりの音がうるさいと思う人のために個室もつくつたらいいと思う。	
52		・大人が勉強に集中できる部屋をつくる。静かなことが大切だと思う。	
53		・町内の高校生と智頭農林の生徒が交流できる場として、図書館があると嬉しい。町外に通う高校生が楽しい居場所として土日などに集える場として。	
54		・智頭急行、JR、及び沿線関連ブース、枕田遺跡ブース、屋外図書ブースなどがあるとどうか。	
55	P6 (2)図書館の役割 P7 (3)智頭図書館の ありたい姿	・公共図書館は、何より情報拠点であり、智頭町の百科事典となる場所、知の空間を楽しみにしている。	ご意見を踏まえ、今後、図書館づくりを進めていきたいと考えております。
56		・コミュニティスペースとしての役割が挙げられているが、智頭町には総合センターやほのぼのにも交流スペースがあるので、規模、用途が重複しない新しいスタイルが実現できると良いと思う。	
57		・自習室、飲食スペース、Wi-Fi環境もほしい。読み聞かせの部屋も必要。こじんまりとした、あたたかい空間が作れるような智頭町でしか作れない図書館を希望する。	

3 新図書館の施設整備に関する基本的な考え方について 計18件 (1)望ましい施設規模：4件
(2)望ましい建設予定地：7件

	該当箇所	意見	回答
1	P9 (1)望ましい施設規模 ・新図書館の目標規模	・延床面積が約1,000㎡とされているが、誰もがゆつくりと過ごせる場所として図書館を作るのであれば狭いと思う。智頭町には、誰もが立ち寄るのに理由にいらぬサードプレイスがほとんどない。みんなの居場所となるような図書館を作してほしい。	今後、第2回住民ワークショップで新図書館について具体的な協議をし、求める役割、機能を図書館整備基本計画として策定を予定しています。住民ワークショップでの協議を踏まえ、提出いただいたご意見を活かしていきたいと考えております。
2		・新図書館の目標規模は、望ましい施設規模と比較して控えめな目標値であると考えている。大きいからいいという訳ではないが、もう少し大きくてもいいのではないのでしょうか。	
3		・延床面積目標値約1,000㎡は必ず確保してほしい。できれば、さらに目標値を増やす方向で検討してほしい。	
4		・職員数は、みささ図書館同様、6人を目標してほしい。	
5	P9 (2)望ましい 建設予定地	・現在の場所より、立地、条件の良い所は考えられない。駅の近くなら足は向く。	望ましい建設予定地について、基本構想案では、具体的な場所を示していませんが、「交通の便が良い場所、建設に必要な面積が確保できる利便性が高い場所、子どもから高齢者まですべての住民が利用しやすい場所」に新図書館を建設することとし、智頭駅周辺の4箇所を建設候補地として検討してきました。第1回住民ワークショップで、参加者のみなさんに候補地を歩いていただき、新図書館における、まちの魅力や建設予定地についてグループごとに協議をしました。この度、その意見を集約し、「智頭駅横、現バスロータリーと周辺駐車場」を新図書館建設予定地として決定し、今後、新図書館建設事業を進めていきたいと考えております。
6		・現役場庁舎及び敷地に隣接した場所が良いと思う。	
7		・役場、総合センター、産業会館も建替え時期がせまる日が考えられる。とすれば、一体として図書館位置も、それに備えた考えが必要だと思う。	
8		・気軽に使いやすいようにバス停などの近くにつくってほしい。	
9		・智頭町の今後を考えると、高齢化に伴う、車での移動ができない層の増加を見据え、駅やバス停の近く、公共交通の利用や他所の駐車場とのスペース共有も踏まえた立地にすることが適当だと考える。	
10		・駅の近くであることが大事だと思う。小中高のある地域ではなく、駅から京橋間が望ましい。	
11		・前回のワークショップで建設候補地をすべて見たがいずれも魅力を感じる場所はなかった。智頭町の将来を今後、30年～40年スパンで考えるならば図書館建設というこの機会を単に一図書館建設と考えず、智頭町の他の主要機能も含めたエリアを設計する首都機能移転レベルの設計構想で考えることが望ましい。現在の町民グラウンドに図書館及び後に役場も移転を考えるなど大局的に計画することを望む。	

(3)望ましい管理運営：7件

	該当箇所	意見	回答
12	P9 (3)望ましい管理運営	<ul style="list-style-type: none"> ・私たち地域住民も図書館の役割、重要性を認識し、積極的に図書館と関わって行きたい。 	<p>住民のみなさんと一緒に、新しい図書館づくりを進めていきたいと思っております。図書館に関わっていただき、まちの中心として賑わう場所になれば良いと考えております。</p>
13		<ul style="list-style-type: none"> ・専門職である図書館司書をはじめとする職員配置の充実、体制づくりについて、図書館司書は当然のことだが、地域の歴史、伝統、文化に関する資料収集において学芸員の配置も考えてほしい。 	<p>今後、第2回住民ワークショップで新図書館について具体的な協議をし、図書館整備基本計画策定を予定しています。その中で、提出いただいたご意見を参考に検討していきたいと考えております。</p>
14		<ul style="list-style-type: none"> ・図書館職員は、図書館として役場職員とは独立し、専門職採用したほうが良いと思う。 	
15		<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の中だけに職員がいるのではなく、図書館を軸とした循環機能にも町援助のもと、町民自立型ビジネスで機能する図書館機能を設けたい。 	
16		<ul style="list-style-type: none"> ・告知端末で本が借りられるなどIT,ICT、IOTの普及とリンクをした運営を望む。 	
17		<ul style="list-style-type: none"> ・夜間も自習スペースが使えるような大人が文化体験や勉強する場所がある運営を望む。 	
18		<ul style="list-style-type: none"> ・公的な図書館ベースに、そのうえにオプションとして有料サービスでグレードの高い図書館コンテンツ、年間会員制サービス等を加味した運営を望む。 	

4 新図書館の建設スケジュールについて 計3件

	該当箇所	意見	回答
1	P10 新図書館の建設 スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・10月現在で、基本構想が進んでいると思うが、住民に対して、事業計画や予算案、基本構想に対しての報告はないのだろうか。 	<p>事業計画、基本構想については、第1回住民ワークショップ、広報ちづ、パブリックコメントで報告を行っているところですが、今後も、第2回住民ワークショップ、広報ちづなどで引き続き報告を行っていきます。また、予算案については、具体的な新図書館整備が決定してからの来年度以降の報告を考えております。</p>
2		<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの住民を巻き込んだ、情報提供がされた、図書館づくりになること。 	<p>ご意見を踏まえ、今後、図書館づくりを進めていきたいと考えております。</p>
3		<ul style="list-style-type: none"> ・立地、施設内容・規模を示した後に、改めて町民に示して、その段階でもう一度パブリックコメントを募集されることを望む。 	<p>第2回住民ワークショップ開催後、住民の声を反映させた図書館整備基本計画(案)について、パブリックコメントの募集を予定しています。</p>

※ 該当箇所の記載がない意見 計57件

○提出いただいたご意見を参考に、検討していきたいと考えております。

	該当箇所	意見、項目
	該当箇所記載なし (意見記入のみ)	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強や調べものがしやすいように、情報が新しい資料を置いてほしい。 ・タブレットを使ってインターネットでいろいろ調べるようにタブレットをたくさん置いたらいいと思う。 ・県外の人たちでも一息つけるように、広い駐車場に広いトイレ、休憩所、ちょっとしたお店があるといい。 ・キッズゾーン設置で子連れの方でも、子どもを遊ばせておく。 ・休む場所にBGMを流したらいいと思う。 ・木育ひろばを設置してほしい。 ・木をふんだんに使った仕様にしてほしい。 ・居ながらに森林浴のできるような図書館にしてほしい。 ・本を読まない人も、わくわくするような場所にしてほしい。 ・少し大きい子向けのおはなし会を土曜日などにしてほしい。 ・子どもがゆっくりと過ごせる、木のおもちゃがある畳スペースがあれば良い。 ・図書館は本を介して、人と人との触れ合いの場であると思う。新しい図書館になっても、今までどおり楽しくワクワクする図書館であってほしい。 ・幼児、児童がゆったりと本を読めるスペース、企画展示、利用PRコーナー等の増設に期待する。 ・成果発表のできる少人数のステージ、ホールの設置。 ・ベビーカーや車いすの方が無理なくすれ違えるように、本と本の間を広くしてほしい。 ・読書スペースを充実してほしい。 ・棚の高さをあまり高くせずに、本棚から人の顔が見える高さがいいと思う。 ・子どもでも使いやすいように本棚を低くしてほしい。 ・カフェ&読書やインターネットができたり、DVDが見えたり、子どもが遊べる空間があると嬉しい。 ・第7次総合計画や鳥取大学とRISTEXとの連携構想事業などとも図書館が連携し、本当に採算が取れる持続可能な地域ビジネスの拠点と低賃金でのシェアオフィス、官民連携インキュベーション機能を持ち、交流の場がある施設を図書館の中に希望する。 ・将来的に本が世の中から無くなっても意味がある知の体験、学習ができる場として常に進化、変化対応していける大局観を持ってほしい。 ・地元の起業や企業などを対象にBtoBに対応する提供力を持つ図書館化。
	該当箇所記載なし (項目記入のみ)	<ul style="list-style-type: none"> ・コンビニ(2人) ・杉の博物館 ・体験施設 ・飲食スペース ・交流スペース ・防音室(2人) ・個別の勉強スペース ・パソコン ・DVDを見るところ(貸出も) ・マンガをそろえてほしい(3人) ・進学先、就職先の本 ・本の数を増やしてほしい ・無料Wi-Fi(3人) ・グループ室 ・スケボー場 ・駅の近く ・駅中 ・24時間営業 ・カラオケ ・出会いの場 ・ジム ・レンタルサイクル ・ユニクロ ・ごはんスペース ・喫茶店 ・仮眠室 ・ダーツ ・ゲームセンター ・アニメグッズ店 ・卓球 ・温泉(2人) ・ソファ ・個室 ・ライブハウス ・ダンススタジオ